事務事業評価シート 【事後評価】																				
会	計	款 項 目 事業コード							事業名					指標の達成度の要因分析(成果指	標を設定しない場合は、その理由を記載)					
0	1	08	02	02		184040	生活道路維持	事業費					補	修	件数及び舗装修繕はおおむね目標	通りの達成度であったため、今後も目標値を維持する。				
総	合	分野   02 暮らし   政策   02 生活基盤の充実											市の瑕疵による事故においての示談件数は10件であり、内容は平成31年2月に舗装段差により負傷したものが1件、令和4年3月に舗装の穴によるパンクが6件、令和4年3月の倒木による屋根破損が1件、令和5年2月の橋梁アーチからの落雪による車両破損が2件である。前年度のパンク事故が多いことを重く受け止め、積極的に道路パトロー							
総計	画 7	施策 01 道路環境の充実											カル	ら(	の落雪による車両破損が2件である 舗装補修を行った。	5。前年度のパンク事故が多いことを重く受け止め、積極的に道路パトロー				
FI	生活道路を安全に安心して通行できるようにするため、維持修繕(舗装の打ち換え、オーバーレイ等)及 び除雪を行う。													ا ک	開設間形で11万元。					
ш,																				
対		道路利	用者										L							
<b>V</b> 133													目的妥当性	1/2	公共関与の妥当性	市道の維持補修は道路管理者である市が行うものであり、その唯一の事業してある。				
ᅶ		安全で快適な通行を確保する													○ 妥当である					
意	凶													Ĺ	見直し余地がある					
	9	市道	維持領	宮理 (舗装	修繕	、除雪等)	1, 181, 921千円							-	妥当でない	は 舗装などの破損箇所は道路パトロールや要望により連日発見されているが				
		<ul><li>○市道維持管理(舗装修繕、除雪等) 1,181,921千円</li><li>○【R3→R4繰越】市道の維持工事 115,028千円</li><li>○【R4現年】市道の維持工事 427,001千円</li><li>○車両・機械の購入 57,085千円</li></ul>											有		以来の向上示地 ○   向上余地がある	全てに対応出来ない状況である。このことから、道路パトロールによる早 📗				
	Č												有効性	įŀ	向上余地がない	期発見と早期補修に努めることで成果向上に繋がる。				
事概	業														PILANEN ISA					
1137.	安														事業費・人件費の削減余地	道路施設の劣化は進行することから、安全確保に必要な維持事業費の削減				
															事業費の削減余地がある	道路施設の劣化は進行することから、安全確保に必要な維持事業費の削減 余地は無い。また、補修箇所の早期対応のため、道路パトロールや苦情処 理等を迅速且つ確実に行うための直営体制強化が望まれることから、人件				
													効率  性	Ė	人件費の削減余地がある	費の削減余地は無い。				
fi Fi	2参画	<u>σ</u>												(	○ どちらも削減余地がない					
la E	有無	~ 対	象外											- 1 -	受益と負担の適正化余地	不特定多数が利用する市道の維持補修を行う事業であるため、受益者は公 平である。				
<del></del>	に協働の	の形態	All I	共催	実行委	委員会・協議	会事業協力	力・協定	後担	爰・協賛	補助・助成	<b>支託</b>	公平	<u>}</u>	受益機会の見直し余地がある					
					動指標	票	•	単位	区分	R03	R04	R05	性	ŧ L	費用負担の見直し余地がある					
1	当該年	度の舗	態	繕件数				件	計画	17. 00	17. 00		$\vdash$	+	○ 適正である 計画的な舗装修繕を行うため 目	<b>期発注を実施したことにより目標延長を達成することができた。道路に起</b>				
1								17	実績	45. 00	45. 00			1	「ロナッま払」して出った。 ロボナ	P達成できなかったため、今後道路パトロールを強化することで維持管理し				
٦	当該年	年度の補修件数							計画	250. 00	250. 00			左	今   因りる事故は10件であり目標を 年   度					
۱ ا									実績	337. 00	421. 00			10	$\mathcal{D}$					
الا	当該年	度の際	全国国	数					計画	10. 00	10. 00			<del> </del>	振り返り					
3								回	実績	13. 00	9. 00			j	返 り					
				成是	果指標	票		単位	区分	R03	R04	R05	総合評	36.						
1 ≝	当該年	度の舗	#装修	繕延長				m	目標	7, 000. 00	7, 000. 00		一評	<u> </u>		ていくために、道路パトロールの強化、補修対応、苦情処理等への迅速で				
1								111	実績	7, 394. 00	8, 140. 00		一個	<sup>‡</sup>   ,	確実な体制を確保していく。	確実な体制を確保していく。				
, I	万の瑕疵による事故件数 目標							0.00	0.00			差	至							
2	4						件	実績	1. 00	10. 00			10	度した。						
1									目標					[i	行					
3									実績						7					
	成果指	旨標の	達成	度		目標値より高	v   0	概ね目	標値ど	おり	目標値よ	り低い								
																生活道路維持事業費 事務事業評価シート				

事務事業評価シート 【事後評価】																			
会計	会計 款 項 目 事業コード 事業名										-			標を設定しない場合は、その理由を記載)					
01	08	02	03		184070	生活道路整備	請事業費					地	地域要望において対策が必要な箇所、完成路線、事業費等を検討し、事業実施件数、整備延長を決定している。						
総合	分野	分野   02 暮らし   政策   02 生活基盤の充実																	
計画	総合 計画     分野   02   暮らし     政策   02   生活基盤の充実     02   生活基盤の充実     03   1   1   1   1   1   1   1   1   1																		
Πú	安全で快適に通行できる道路網を構築するため、各コミュニティ地区の土木施設要望に沿って、市道の道 目的 路改良、側溝整備を行う。																		
HH	) Indexes	RUH	9正川で1	1 70															
*1. <i>4</i>	道路利用	]者、	市民																
対象 	<b>教</b>												公共関与の妥当性	公共施設である道路の整備であるため妥当である。					
	安全で快	適な	は通行の	確保を図	図る							的妥当性	夕 (	○ 妥当である					
意図												清		見直し余地がある					
	○生活道	路	<b>と備事業</b>	(繰越明	月許費) 45	9, 479千円 8, 518千円						1 13	-	妥当でない					
	○生活道	路雪	整備事業		85	8,518千円						有		成果の向上余地	市道の道路改良、舗装新設、側溝整備を行うものであり、整備後は地域要 一望の道路環境を満足された水準となることから、さらなる向上は難しい。				
														向上余地がある ○ 向上余地がない					
事業概要											性	ŧΕ	○   四上宗地かない	-					
機男													+	 事業費・人件費の削減余地	事業を実施する上で、計画から工事監督業務まで多岐にわたるが、現在で				
													力区	事業費の削減余地がある	事業を実施する上で、計画から工事監督業務まで多岐にわたるが、現在でも効率的な事業執行に努めている。また、外部委託を行うなど人件費の削				
													区 生	人件費の削減余地がある	減に努めている。				
	4 T.O.											$\{ \   \   \  $		○ どちらも削減余地がない	1				
	参画の 対象 前無	納												受益と負担の適正化余地	市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、受				
市民	品働の形態		共催	実行委	員会・協調	議会 事業協	力・協定	3 後掠	爰・協賛	補助・助	成 委託	-   公平	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	受益機会の見直し余地がある	益者負担は公平、公正である。				
111201	10 120 × 710 72.			動指標		3.71(11)	単位		R03	R04	R05	性		費用負担の見直し余地がある					
道	路改良事業	実施	路線				75.66	計画	34. 00	16. 00		╗	(	適正である					
1 1							路線	実績	30. 00	36. 00		11		──  路線数が多いため、早期発注に △   めることができた。	に努めるとともに可能な限り外部委託なども活用しながら効率的に業務を進				
舗	装新設事業	実施	路線					計画	5. 00	0. 00		1	1	ブー 年					
2							路線	実績	10. 00	10. 00			]	<b>度</b>   の					
側	溝整備事業	実施	路線					計画	13. 00	10. 00		1	Ì	  振   b					
3	3							実績	13. 00	16. 00	1		}	9  返  h					
成果指標								区分	R03	R04	R05	終	会	9					
道路改良整備(完成)延長							単位	目標	4. 50	1. 10		総合割	<u> </u>	ンギのあばり マゼナ 7 両台 Di 夕米	No. 11. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12				
							km	実績	4. 90	3. 40		一品	F E	直路整備に対する要望が多数i	寄せられていることから、コスト縮減に努めながら業務を効率的に進める。				
全出	<b>装新</b> 設整備	(宗	成) 延長					目標	1. 40	0. 00	ļ	$\  \cdot \ $		次					
舗装新設整備(完成)延長 2							km	実績			1	$\  \cdot \ $		生 ( 度					
側溝整備(完成)延長								1	2. 70	3. 10	ļ			<del>②</del> 句 ナ					
関件発用(元成)延長  3						km	目標	1. 60	1. 20	1	$  \  $	إ	건						
DELICITION							Ipor > -	実績	1. 30	2. 10									
<b>月</b>	<b>戈果指標の</b> 遺	[成]	复 【〇	)  目	標値より	島い	概ね	目標値どオ	39 I I	目標値。	より低い	H	- 1						

事務事	業評価	シート	•	【事後評価】															
会計	款	項	目	事業コード		事業名								果指	標の達成度の要因				
01	08 02 03 184090 花巻スマートインターチェンジ整備事業費													地区協議会は事業の進捗					
総合	分野	02	暮らし	政策	02	生活基盤	盤の充実	<b>一</b> である。											
計画	施策	01	道路環境	色の充実															
	高速道	高速道路の利便性を向上させ、産業振興等の発展を図るため、東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアに スマートインターチェンジを整備する。																	
目的		トイン	ターチェ	ンシを整備する。															
	高速道路	各利用	者																
対象														分	共関与の妥当性				
	花巻パ-	ーキン	グエリア	。 にスマートイン <i>?</i>	スーチ	ェンジを <sup>集</sup>	整備する						目的		妥当である				
意図			, , ,	,_,,,			L/III / G								見直し余地があ				
	○花类、	7 7.	1 23/F	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5张 ()	ダ品 本代ロロ ∋/r ず	鬼) 1 つ	ne 4.m					性		妥当でない				
	○ 佐養:	ヘマー スマー	トインタ	ーチェンジ整備 ーチェンジ整備 ーチェンジ整備	業(	<sup>裸                                    </sup>	ョ) 1, 2 費) 99, 5	53千円 32千円							果の向上余地				
	○ 花巻 )	スマー	有効性		向上余地がある														
車業															向上余地がない				
事業 概要						He with a first with a steel													
													劫		業費・人件費の削				
													効率性		事業費の削減余				
	Ь,												性		どちらも削減余:				
	市民参画の無無													_	こうりも削減赤 益と負担の適正化				
有無	#	_				Limit		1 146		Line	-1.15	1 1	公		受益機会の見直				
市民協	働の形態	<u> </u>		実行委員会・協議	会	事業協力			爰・協賛	<del></del>	・助成		公平性		費用負担の見直				
			石	動指標			単位	区分 計画	R03	RO	4	R05			適正である				
1															事業者間で工程				
								実績											
2								計画						1年度					
								実績						今年度の振					
3								計画						100					
								実績						り返り					
			成	果指標			単位	区分	R03	R0	4	R05	総合評価						
								目標							事業も終盤に差				
1								実績			T		1曲						
								目標						全					
2								実績						次年度に向け					
								目標						向					
3	実績											7							
市民	単指標の	達成角	<u> </u>	日樗値上り言	:W	1.1	<u> </u> 輝わ日	煙値ど	tan I		煙値 と	り任い							

成身	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)													
地	地区協議会は事業の進捗状況に応じて事業者間で必要性を協議のうえ実施するため、事前に設定することが困難													
でさ	である。													
_			Nichelle is a state of the life and the the life											
見	公	共関与の妥当性 ニューニー	道路利用者の利便性、道路環境の向上、地域振興の観点で公共が関与する ことは妥当と認められる。											
的亚	0	妥当である	ことは女当と恥められる。											
目的妥当性		見直し余地がある												
性		妥当でない												
	成身	果の向上余地	スマートインターチェンジの整備には、ある程度の地域醸成も必要である											
有		向上余地がある	0											
有効性		向上余地がない												
1	H													
	事	 業費・人件費の削減余地	必要最低限の経費で整備を目指している。											
効	H	事業費の削減余地がある	A SAME A SELECTION COLUMN COLU											
効 率 性	<u> </u>	人件費の削減余地がある												
1生		どちらも削減余地がない												
	$\sim$	とうりも前級示地がない     と負担の適正化余地	  道路は公共財であるため公平性は確保されている。											
1/4	又1	1	直路は五光射であるため五十圧は唯体でれている。											
公平性		受益機会の見直し余地がある												
性		費用負担の見直し余地がある												
$\vdash$	0	適正である												
	١.	事業者間で工程調整を行いなか	「ら円滑に事業を進めることができた。											
	今年													
	世度													
	今年度の振り返り													
	版													
	返													
総	"													
総合評価														
評		事業も終盤に差し掛かることか	いら、工程や事業費の調整を綿密に行い、早期の供用開始を目指す。											
ІІШ	次													
	年													
	度													
	次年度に向け													
	けて													

花巻スマートインターチェンジ整備事業費 事務事業評価シート

事務員	事業評価	シー	<u> </u>	【事後評	仙】														
会計	款	項	i	事業に	コード			Ī	事業名			成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)							
01	08	02	04	184	100	橋梁維持事業	費						○R2年度より修繕対象橋梁数を追加実施(R1年度の橋梁長寿命化修繕計画の見直しによる) 耐田年数により修繕対象橋梁数を追加まれていく状況。修繕の必要を焼砂れた。修繕を随時進みる						
総合計画	分野	02	暮らし		政策	02 生活基盤	盤の充実	[					H30 <sup>2</sup>	年度迄 ⇒ 対象橋梁26橋	々追加されていく状況。修繕の必要な橋梁から、修繕を随時進める。				
計画	施策	01	道路環境	の充実								$\Pi_{C}$	R1年 R4年	:度から ⇒ 対象橋梁71橋 :度、国費内示による4月追加補7	Eにて修繕実施橋梁数を増やすことができた。				
目的	交通のに対策	)安全を ぎすべき	を確保する き橋梁を優	とともに 先して修	橋梁の長 繕する。	寿命化を図るた	きめ、花	巻市橋梁	2長寿命化修	8繕計画に基		,							
対象	道路利用者、市民、修繕が必要な橋梁対象													共関与の妥当性	・公共施設である橋梁の修繕なので妥当である。				
	11. 41. 1 - 13	橋梁修繕により、市内を安全で快適に移動できる。												的   妥当である					
意図												· · · · · · · · · · · · ·	iL	見直し余地がある	_				
	○橋渓	と維持 事	事業(繰越	明渠費):	98, 461千	円						1 13	-	妥当でない					
	○橋粱	○橋梁維持事業(繰越明渠費)98,461千円 ○橋梁維持事業 399,423千円												果の向上余地	<ul><li>前年度に橋梁修繕内容の調査設計を実施し、補修内容や予算について精度をあげている。</li></ul>				
												有   数   性	; _	向上余地がある 向上余地がない	・公共物の老朽化は年々進むものであり、現在の取り組みを維持し、継続 的に修繕事業を進める必要があることから、更なる成果の向上は困難であ				
事業												1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	$\vdash$	円上示地がない.	る。				
概要													事	 業費・人件費の削減余地	・前年度に個々の橋梁修繕内容について調査設計を実施。				
														事業費の削減余地がある	・ぞれにより適正な補修方法、内容を検討。 ・あわせてコスト縮減についても検討。				
												対率	:  -	人件費の削減余地がある	・積算、施工管理に係る事務経費の適正な執行に必要な最低限の事務を行				
士日4												┨╏		どちらも削減余地がない	<b>つ</b> っている。				
中氏	参画の 無	乗し										ΙГ.	1	益と負担の適正化余地	・公共施設であり、不特定多数が利用する橋梁の補修であることから、受益負担は公平、公正である。				
市民協	協働の形態	態	共催	実行委員会	会・協議会	事業協力	」・協定	後接	爰・協賛	補助・助成	委託			受益機会の見直し余地がある					
				助指標			単位	区分				性	:	費用負担の見直し余地がある					
修	善橋梁数						145	計画	3. 00	6. 00		1 ⊢		ACE TO S	マンス ロ 中央 (本の 2 面 と 接添 と 原 仕 ) マ (な 様 と ) マ ( ) マ				
1							橋	実績	3. 00	7. 00		11		・個々の橋梁修繕については、	びき、早期対策の必要な橋梁を優先して修繕をしている。 前年度に調査設計を実施し、内容の精度を上げて事業費削減等に努めてい				
								計画				1	今年	る。					
2								実績				11	度の						
								計画				11	振り						
3								実績				11	振り返り						
!			成兒	果指標			単位	区分	R03	R04	R05	総	\$   <sup>9</sup>						
修約	善対象橋	梁修繕	率(R1~R5					目標	28. 00	36. 00		総合評価	<u>į</u>	<ul><li>・ 佐沙 巨 寿 命 小 修 様 計 両 に 其 ~</li></ul>	づき早期対策の必要な橋梁を優先して修繕を実施する。				
1							%	実績	28. 00	38. 00		福		・調査設計により、修繕内容の	D特度を上げて事業費削減に努めている。				
-								目標					次						
2								実績					度に						
$\dashv$							<del>                                     </del>	目標				1	度に向け						
3									実績			$\left\{ \ \right\}$	けて						
J Ja	₹ 記果指標 <i>0</i>	)達成)	<b></b>	日標何	値より高	v 101	<u> </u> 概ね⊨	<u> </u>	  aり	<u> </u> 目標値よ	<u></u> い低い	$\{ \mid$							
/*/	42 141 H 1817.		~	1 1 12011	- J. / IPI		1-74 1-X	- 121 III - 1			· > 1=4.	1 L		1					

#### 令和4年度 事務事業評価シート

京京   京京   京京   京京   京京   京京   京京   京	事務事	業評価シー	- ト		事後評価】															
会子   22   多く	会計	款	頁	目	事業コート	"			1	事業名			成	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)						
###	01	08	)2	05	184160	]	交通安全環境	整備事	業費				交	通	安全プログラムによる通学路にお	らいて児童の安全歩行が必要な箇所、完成路線、事業費等を検討し、事業実 ・				
日の	総合	→ 分野 02 暮らし											1   施件剱、歩追整偏姓長を伏疋している。 							
日的 対象	計画	施策 01 道路環境の充実																		
対象   対象   安全・安心な野行空間の確保を図る   安全・安心な野行空間の確保を図る   安全・安心な野信を指す業(繰越時消費)160.769 FT   297.910 FT		道路利用者	路利用者の交通安全環境の向上を図るため、歩道の整備、歩道の段差解消等の整備を行う。																	
対象	目的																			
京都		道路利用者	道路利用者、市民																	
安全・安心な歩行空間の確保を図る   交通安全開発管備主業 (機線明音弾 150.769千円 297,910千円 297,9	対象												╽╠	3 /2	公共関与の妥当性	公共施設である道路の整備であるため妥当である。				
交通安全開発管報事業 (補應明計算) 180 789   190 781   297, 910 FP  2		安全・安心	な歩行	空間0	)確保を図る											_				
交通安全開発管報事業 (補應明計算) 180 789   190 781   297, 910 FP  2	意図												当		見直し余地がある					
# 要		○   ○     ○											性	É	妥当でない					
下民参輔の   対象外   下民参輔の   大阪   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東		○交通安全	環境整	備事業	E (MAXICE 1911)	2	97, 910千円									現況の道路敷地内で有効的に、かつ交付金事業を活用しながら歩道整備を実施しており、予算内でのさらなる向上は困難である。 全終ま 浜道敷備等				
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学														] ] ]		一の要望に応えるため、現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要があ				
市民参輔の   対象外	事業													£Ľ						
市民参画の   対象外   大催   実行委員会・協議会   事業協力・協定   後援・協賛   補助・助成   委託   大藤   大藤   大藤   大藤   大藤   大藤   大藤   大	概要														 車業費・人件費の削減全地					
作民会画の   対象外																				
市民参画の   大塚外   大阪   大塚   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪																				
有無	+==	<u> </u>													○ どちらも削減余地がない					
市民協働の形態   共催   実行委員会・協議会   事業協力・協定   後援・協賛   補助・助成   委託   活動指標   単位   区分   R03   R04   R05   計画   7.00   6.00   十			<b>,</b>											Ž	受益と負担の適正化余地	市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、受				
注動指標   単位 区分 R03 R04 R05			共催	宝	行委員会•協	議会	事業協力	1 • 協定	7   後‡	爰•協替	補助・助原	↓   季託			受益機会の見直し余地がある	□益者貝担は公平、公正である。 □				
1	11-2-(1)	7125 271725	/ \ (ILL			3113,22	3.214.0027.3						性	ŧL						
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	当該	年度步道整	<b>請事業</b> 第	延伸	数			111	計画	7. 00	6. 00		l L	1						
計画   実績   一								件	実績	7. 00	11. 00		11	1		早期発注や外部委託を行い目標を上回る事業数、整偏延長を達成した。				
大道整備 (完成) 延長   日標   日標   日標   上額   上額   上額   上額   上額   上額   上額   上	$\Box$								計画				11	4	Ŧ.					
計画	2								実績						<b>夏</b>   の					
成果指標   単位   区分   R03   R04   R05     1   歩道整備 (完成) 延長   日標   0.30   0.30     2   上標   上標   上標   上標   上標   上標   上標																				
成果指標   単位   区分   R03   R04   R05     1   歩道整備 (完成) 延長   日標   0.30   0.30     2   上標   上標   上標   上標   上標   上標   上標	3												$\  \cdot \ $	ì	区					
大照   実績   0.10   0.80				成果	 指煙			単位		R03	R04	R05	総	台	9					
大照   実績   0.10   0.80	歩道	1整備(完成)	延長	19/4/10	1111/			7-122	_		<b>-</b>		自合	<u>}</u>		た 車 要 を 准 払 ス ト ふ 逐 ケ フ ュ ロ 二 ア ぃ プ し ア い ノ				
目標       実績       目標       実績	1							km		0. 10	0. 80		福	E		に事業を延めるよう極久ノオローテクテしていて必安がめる。				
2     実績       3     目標       実績     しけて	H										1				欠					
3	2													Į	隻					
3	+											-		1	<del>,</del> i					
	3													Ιl	ナ					
	<u>-t</u> ;	甲指揮の速点	) 庄		日輝店とり	う声い	<u> </u>	押わり		kan I I	日無店	上り任い								